



この地球で、必要とされる企業で

株式会社コーセー 代表取締役社長 小林一俊

美を創造する企業として

コーセーには「美しい知恵 人へ、地球へ。」という企業メッセージがあります。この言葉は、1991年にCI（コーポレート・アイデンティティ）を発表した際、美を創造し、人を美しく幸せにするという私たちの使命を表すために決めました。当時、環境への取り組みは今ほどその必要性が叫ばれておらず、CSRやサステナビリティといった言葉も一般的には知られていませんでした。しかし私たちは、商品を製造販売し、実績をあげることに同じく、「人へ、地球へ」という言葉が表すように、社会や環境との共生も大切な目標と考えてきたのです。

社会と人との共生が、企業活動の課題

その一例が、生産現場におけるゼロエミッションや、石油や電力の消費削減といった取り組みでした。廃棄物を出さないことや、燃料の消費を抑制することは、環境への負荷を抑制し、環境との調和を進めるためにとっても大切です。また、社会との調和・共生という意味では、1992年に特例子会社の株式会社アドバンスを設立するなど、身体障がいのある方々の雇用を促進してきました。社会に必要とされる企業であるため、社会から何を望まれているのか、それに対してどうすれば良いのかを考えています。また、こうした活動を継続していくためには、経営と切り離された慈善活動としてではなく、コーセーが企業価値を高め、持続的に発展していくための経営課題のひとつと捉えることが不可欠です。

また昨年からは、環境に対する新しい試みも始めました。熱帯雨林と同じように酸素を供給する働きを持つ海洋中のサンゴが絶滅の危機に瀕していることから、サンゴを移植する活動を支援しています。カーボンオフセットという観点から、植林活動にも協力しました。また盲導犬の普及支援など、社会や環境に対して、さまざまな試みも進めています。お客様にお届けする商品でも、点字やカラーバリアフリーを積極的に取り入れるなど、より多くの方に受け入れていただけるための工夫を重ねています。

今後もお客様や地域社会との共生関係を、より発展させていきたいと考えています。どうぞご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



CONTENTS

01-04

雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクト

05-06

トップメッセージ

07-08

コーセーの環境マネジメントシステム

09

環境活動推進の組織体制

10

環境指標

11-12

環境に配慮した製品の開発

13

産業廃棄物の削減

14

省エネルギー

15

環境汚染の防止

16

環境負荷データ

17-18

その他の取り組み

19-20

群馬工場の取り組み

21

コーポレートガバナンス ・コンプライアンスについて

22

ステークホルダーともに

23-24

コーセーについて

25-26

2009環境会計